

◆今期間のポイント

<主要じょう乱の概要>

- 16日は、低気圧が日本の東へ進む。前線が華中から沖縄・奄美付近へのびる。
- 17日は、高気圧が日本の東へ移動する。前線が華中から日本の南へのびる。
- 18日から20日にかけて、高気圧が千島近海付近でほとんど停滞する。前線は東シナ海から日本の南をって日本の東へのびる。

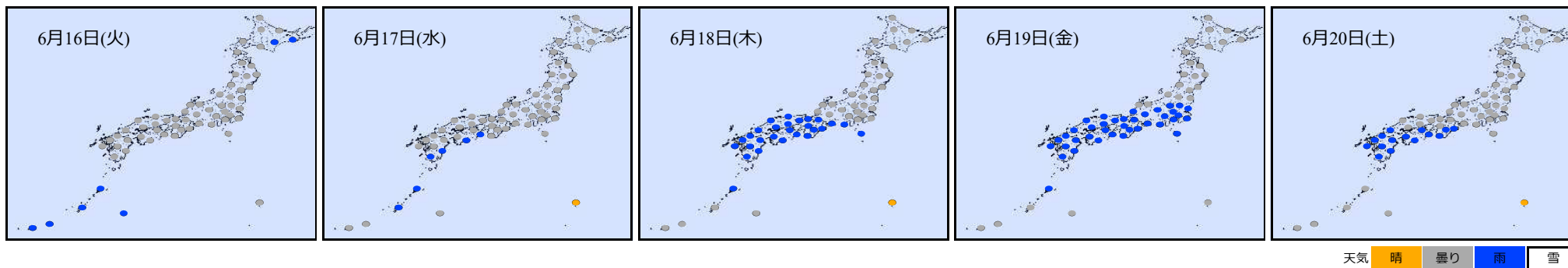
<防災事項> 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- なし。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

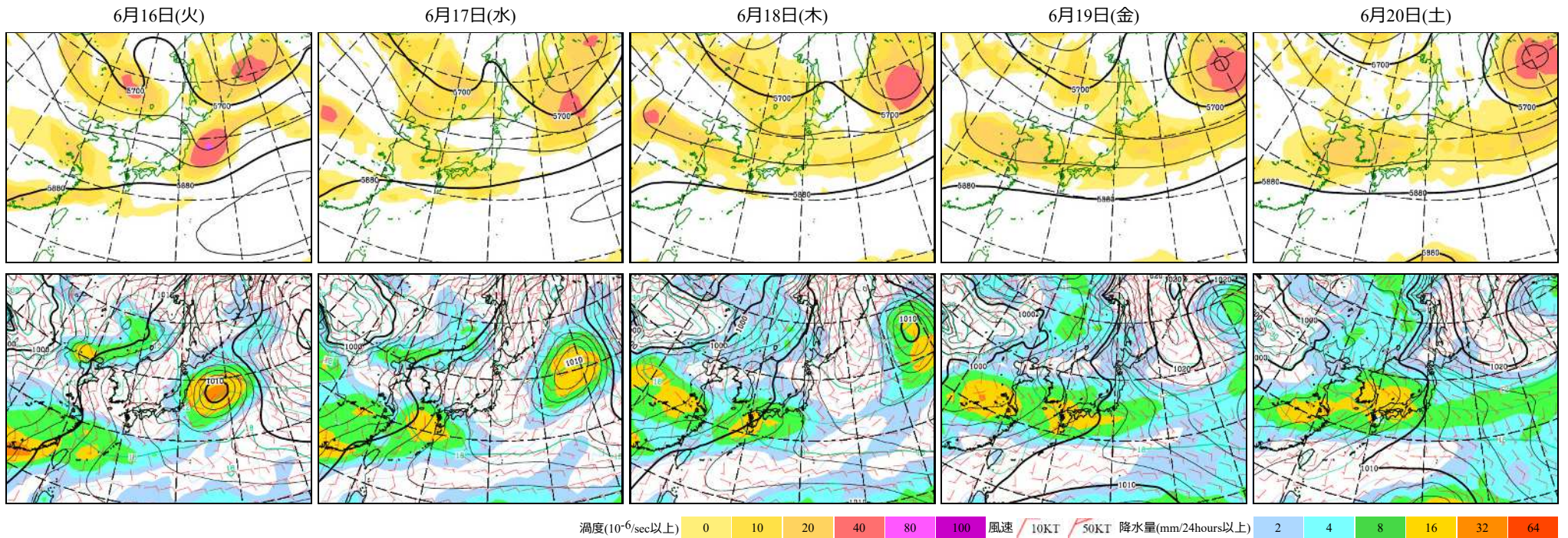
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

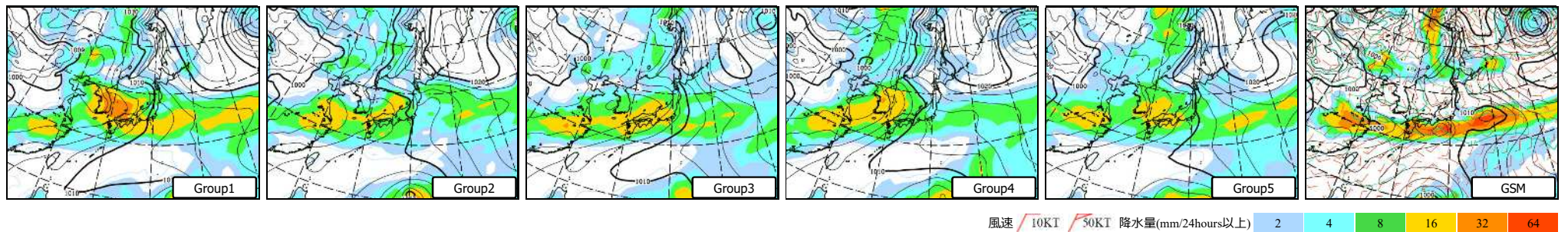


- 北日本は、曇りの日が多い。
- 東日本、西日本、沖縄・奄美は、曇りや雨の降る日が多い。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆6月20日のENSクラスター平均(グループ1~5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料 (ENS) は、18日以降は千島近海付近の高気圧が強まる傾向となった。
- モデル間の差は、17日までは小さいが、18日以降は、東シナ海から日本の南を通る前線の位置にばらつきが見られる。
- スプレッドは、期間の終わりで大きく特定高度線のばらつきが見られる。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。